



(福)近江ちいろば会の事業体系

～在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケア～

湖南省エリア

グループホーム ぼだいじ	ケアハウス ビスガこうせい	デイサービス虹 (一般型)	認知症デイサービス いこい
小規模多機能 ぼだいじみんなの家	ぼだいじ 訪問看護ステーション	総合事業 るんるんクラブ ふれあいの家 おしどり	認知症デイサービス しんあい
ぼだいじ 居宅介護支援センター	ぼだいじ ホームヘルプステーション	デイサービス デイケアの家 おしどり	共用型デイサービス グループホームぼだいじ
高齢者支援センター ぼだいじ	ちいろば 移送サービス	デイサービス ゆめとまの家 おしどり	障害福祉ホーム ヘルプステーション

甲賀市エリア

ケアプランセンター みなくち みんなの家	グループホーム みなくち みんなの家	デイサービス みなくち みんなの家
-------------------------	-----------------------	----------------------

平成28年度(第9回)業務改善活動成果発表会

平成29年2月21日(火)、各チームが一年間にわたり取り組んだ業務改善活動の成果を発表しました。審査委員として、関西アーバン銀行の菩提寺支店長中島様、藤原理事に加わって頂き本年度のベスト3を決定させて頂きました。



表彰	事業所名	テーマと概要
近江ちいろば会 QC大賞	グループホーム みなくちみんなの家	「個々に合った気持ちの良い排泄を実現する」 個々のアセスメントと環境改善により自立的排泄割合を増加した。
グッドパフォーマンス賞	デイサービスセンター虹	「利用者にとって合った機能訓練による効果測定」 握力と立ち上がり速度を指標として機能訓練の効果を評価し、改善が確認された。
ハイパフォーマンス賞	厨房(ごちそうさん)	「食事を楽しんでいただくために。会話の溢れる食事タイムの実現」 写真や豆知識で食事が楽しめる取り組みを実施し、利用者との両方の満足度が向上した。

定期採用職員ご紹介

今年度は、社会福祉を学んだ2名のフレッシュな方、そして7名の経験者の方にご入職いただきました。入職の動機は、在宅支援・認知症ケアを実践したいということでした。これからの法人でのご活躍に期待致します。

上段(左から):萩原留美さん(大阪総合福祉専門学校卒業)、片岡莉沙さん(京都医療福祉専門学校卒業)

下段(左から):高岡拓人さん(理学療法士)、真鍋崇さん(社会福祉士・介護支援専門員)、村上忠央さん(介護福祉士)、石田美重さん(介護福祉士・介護支援専門員)、谷河加津子さん(経理事務)、谷本千秋さん(看護師)、澤田育世さん(初任者研修修了)



近江ちいろば会
新理事・新評議員体制

3月に開催された「評議員選任解任委員会」並びに評議員会、理事会にて新たに4月1日以降の法人役員、評議員が選任されました。また、3月28日の理事会にて法人設立(1994年7月)以来、23年間に亘って理事長をお務め頂いた奈良 馨夫氏が退任され、新たな理事長として森口 茂が就任致しました。今後とも、ご支援の程お願い申し上げます。

理事長	森口 茂	理事	森口 聡	堀内 京子
		理事	土岐 聖仁	奥田 孝次
			森川 和義	
監事	明智 榮一	武本 勉		
評議員	奈良 馨夫	行本 善則	中田 匡美	松山 克子
	原田 潔	望月 修治	中村 正哉	

日本財団様より車贈呈式

晴天に恵まれた2月27日、日本財団様より頂いた車いす対応の車両贈呈式を行いました。ゆめとまの家おしどりのご利用の方を中心に段ボールで大きな車のキーを作ったり、この式の看板を作ったりと準備をすすめ、心待ちにしていた日です。式の後早速数回に分けてご近所を試乗すると「うれしいね」「カワイイ顔が描いてあるね」との弾んだ声。その乗り降り様子は自然と身体も軽くなったように感じられました。毎日の送迎やお出掛けなど大切に使用させていただきます。本当に感謝です。



寄付金・後援会費 感謝報告 2017年1月1日～3月末現在 (順不同・敬称略)

寄附金 鎌田 勝三
後援会 江坂 剛三 京都丸太町教会 シオン会 日本基督教団京都教会
日本キリスト教団洛西教会 日本基督教団水口教会 水口子どもの教会

事業内容

ケアハウス ビスガこうせい/ぼだいじデイサービスセンター/ぼだいじホームヘルプステーション/ぼだいじ居宅介護支援センター/高齢者支援センターぼだいじ/グループホームぼだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ぼだいじ訪問看護ステーション/デイケアの家おしどり/ゆめとまの家おしどり

ビスガからの風 第46号

2017年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ビスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4
TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiroba.jp/

理事長交代のご挨拶



1994年7月の社会福祉法人 近江ちいろば会設立より、23年に亘り理事長を務めさせていただきました。この間、措置から介護保険導入、施設より在宅ケアへのシフトなど大きく環境は変化してまいりましたが、創業の理念を大切に事業運営に携わることが出来ました。これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。後任には、私と共に法人運営を担っておりました、森口茂氏が就任いたします。これからの社会福祉のあり方も、大きく変化するものと思われませんが、法人職員、関係者が一丸となって難局を乗り切っていただきたいと思ひます。

元理事長 奈良 馨夫



新たに理事長に就任いたしました、森口 茂です。社会の環境変化に柔軟に対応して、「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」の経営理念を実現できるように努力してまいります。変わらぬご支援お願い申し上げます。

理事長 森口 茂

近江ちいろば会の理事長・理事・評議員交代に際して

元評議員、元後援会会長 平野 正 氏

評議員、後援会長の終わりに際しまして、感想と御礼を申し上げたいと思ひます。まず、奈良馨夫さんが当法人の創立時(1994年7月)から今日に至る23年に亘って理事長のお役目を担い、あらゆる要件を常に変わらぬ真摯な姿勢で対応されましたことに深い感銘を受けています。ご苦勞様でした。新たな施設の開設に当たっては、場所の下見や地区との関わりや、行政上の問題など、詳しくお調べになり、設立後の地域との良い関係を作られました。経営が困難な際には、一身に負担を負われることのご覚悟も伺いました。この間、多くの時間と費用を全くの無報酬にもかかわらず私的に充当されました。まさに、キリスト教で言う、宝を天に積む、という言葉どおりのご生活と拝察いたします。我が国の行政は、キリスト教主義による功績を評価しないことになっているので、奈良さんのお働きが公に知られていないことは残念です。

そして、理事長の招請に応じて森口茂さんが、大企業における輝かしい職歴を離れて、当法人の運営責任者・館長としてご着任下さったことにより、当法人の現在があることは言うまでもありません。森口館長は、危機的であった当法人を、職員の皆様と共に、この地域のみならず、この業界を代表すると言っても過言でない社会福祉施設へと変えました。特に、多くの同業他社が古い体質であるのに対して、近代的な企業体質に変えたことは、今後の安定や成長の基になると確信します。これから理事長として、さらに法人をリードしていただけるものと確信しています。

さらには、森口館長の求めに応じて運営にご参加下さった武本勉さんが業務全般の管理と経理を見直され、赤字体質を黒字体質に変える基盤を作ってくださいました。毎年の県からの監査においても、考え方や実務の理解などでは、武本監事が行政官と同等の高い見識をお持ちであるのが印象的でした。私も業務内容の正確な把握と、対応する表や数字をどう読むのか、ということなど多くを学ばせて頂きました。

当法人の創設者の元後宮館長、職員の皆様についてもお話をしたいことは沢山あるのですが、紙面の都合で省略させていただきます。社会的、企業的にこれほど経験豊かで高い見識をお持ちな方々を理事、評議員、監事、としている社会福祉法人は少ないと思ひます。引き続きお役目を担って下さる方々のお働きを尊く思っています。

これからも入居者様や利用者様のより高いQOLの確保と、職員の方々の生活水準の向上のために役員・職員皆様のご尽力を期待し、陰ながら支援して行きたいと思ひています。皆様のこれまでのご指導ご厚情に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

基本理念: 人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

各事業所の 取り組み紹介

ケアハウス ピスガこうせい

メンバーの特徴
年齢が幅広く、一人ひとりがそれぞれに得意分野を持っていて、介護だけでなく芸道者で多様多才に対応できる介護の世界のなんでも屋さんの存在。

ドロップの会の活動を厨房と連携して増やしていくと共に地域にも活動の場を広げていきます。

チーム力向上への取り組み
看護師から介護で役立つ医療の知識や研修での専門知識や技術などをチームで学び合います。全員が見学者対応、契約ができるよう取り組みます。



2016年度の取り組み
入居者ボランティア活動「ドロップの会」やレクリエーション活動などの支援に取り組み、野菜の皮むきやお盆拭きなどを自主的にして下さったり、卓球や脳トレなどに参加される方が増え、役割や楽しみを持って頂くことができました。

ぼだいじデイサービスセンター虹

メンバーの特徴
1人1人がしっかりと意見をもち、任せられたことは責任を持って行える、頼りになるメンバーです。

つします。
②毎日、ミーティングでコミュニケーションをとります。
③毎日、職員間の対話を大切にし、お互いに意見を言いやすい関係作りを努めます。

2016年度の取り組み
タオル体操や機能訓練により、評価数値で、全体平均 握力1kg向上・立ち上がり速度が6.1秒向上しました。



2017年度に向けて
①心身の活性化②機能訓練③介護予防④認知症予防を行います。そのために、自分でできることを奪わない、本来できることができるように在宅生活を意識した、一人ひとり心身の状況に応じた自立支援をおこないます。

チーム力向上への取り組み
①毎日、目を見てお互いに元気な声であいさ

ぼだいじデイサービスセンターいこい

メンバーの特徴
ベテランもいれば新人もいます。それぞれ良い味を出しながら利用者の支えとなっています。新たに職員も加わり新しい風が吹くと思えます。

在宅生活での困りごとや相談など、気楽に出来る場所でありたいです。職員も替わり、新たな取り組みを考えています。

2016年度の取り組み
個別ケアを強化することで自立支援の取り組みが出来ました。「認知症にかかると介護の滋養泉大会」にて業務改善で取り組んだ事を発表。



2017年度に向けて
目標や目的を持った活動をして頂くことで、利用者様の現状維持に努めます。

チーム力向上への取り組み
地域交流のためバザー開催予定(5月)認知症対応を学び、理解する。介護保険制度について学ぶ。



デイケアの家おしどり

メンバーの特徴

おしどりは個性が発揮できる場所です。バンドチーム(おしどりバンド)を結成しています。パイオリン・ピアノ・ピアノ・ハーモニカを使い演奏しています。時々コントもします。

2016年度の取り組み

皆さんがおしどりでしゃべって、笑って、泣いて、時には怒りながらその人がその人らしく過ごす居場所になりたいと「心動かしてあなたらしく私らしく」をテーマに取り組んできました。

2017年度に向けて

2017年のテーマは「ひとり、ひとりを大切に」です。日々の交わりの中で、その方が大切にされて

ているものを知り、お互いを尊重し尊敬を持って過ごしていくことを目標にしています。

チーム力向上への取り組み

介護ということを学びながら、自分の考えや意見を持って発言ができ、お互いが聞く耳を持ち、疑問を素直に話しあえる場でありたいと願っています。



ゆめとまの家おしどり

メンバーの特徴

ゆったり、落ち着いた気持ちと秘めた情熱があります。笑顔と個々の考えを持っていきます。もっか日々「限られた時間」と奮闘中です！

2016年度の取り組み

2016年は「心通い合う集いの場」を目指して、様々な機会に交流や情報交換を心掛けてきました。特に初めての畑の収穫祭への取り組みはご家族の参加も多く頂き、その恵みを分かち合えたことは大きな成果であり、経験となりました。

2017年度に向けて

ゆめとまの家おしどりに「行って(言って)よかった 元気になる！」と感じてい

ただけるように、また少しでも多くの方に知ってもらえるようがんばります！

チーム力向上への取り組み

意見を言う、主体的な行動、ともに楽しむ！という目標に向かって常にお互いに役割を意識して、協力できる体制をつくります。介護の考え方や技術などの自主勉強会を開催し個々に向上していきます。



中央デイサービスセンターしんあい

メンバーの特徴

幅広い年代の職員メンバーが、しんあいに参加されている皆さまと一緒に、これまで培ってこられたお力を自然なカタチで発揮して頂けるように心がけながら支援させて頂いていきます。

2016年度の取り組み

2016年度は在宅ケアの支援力を入れました。介護してられる方、特に男性の介護者さんを対象にした情報交流会やネットワーク作りなどの機会を3回催しました。

2017年度に向けて

さすがしんあいは「明るく・楽しく・元気」な事業所と言われるように努めてまいります。そして、認知症ケアの専門家として、在宅ケアされて

いる方々のお力になれるように頑張っています。いっしょに思っております。

チーム力向上への取り組み

今年度は、認知症の病状についての理解から具体的な支援をしてまいります。少しでも在宅生活のお力になれるように、支援の方法をフィードバックしていきたいと思っております。



小規模多機能型住宅介護事業所 ぼだいじみんなの家

メンバーの特徴

とにかく熱心で明るい職員。新たな取り組みにも一丸となってチャレンジしていく前向きなチームです。

2016年度の取り組み

「ご利用者と一緒に昼食準備をする」をスタッフ一丸となって取り組みました。このことをきっかけに自立支援の取り組みを広げていくことができました。

2017年度に向けて

自立支援の取り組みをさらに充実させる。そして、中・重度の介護を必要としている方に対しては、目標を持った、個別の機能訓練メニューの提供をしていきます。

チーム力向上への取り組み

業務の委譲を段階的に進め、職員全員が一歩上へとレベルアップに努めます。また、事業所内での学習の機会を定期的に持ち、看取り支援、ポジショニングなど、より専門性を高めていきます。



グループホームぼだいじ

メンバーの特徴

年齢層の幅が広い事から、経験豊富な職員が一緒にいる事で安心や実践的な学びを得、若い職員からは活力を得、入居者様の笑顔を増やしています。

2016年度の取り組み

地域とのふれあいを通して認知症の理解を深め偏見の解消に努めました。地域の茶の間サロンに参加させていただき、また河川敷のゴミ拾いや、地域の幼稚園に手作り雑巾を持参し、お年寄りとの交流の場を持っていただきました。

2017年度に向けて

入居者様の出来る事を活かし楽しみと役割をもって元気に生活をさせていただく為の支援に取

り組んでいきます。自立支援から地域貢献に繋げる取り組みを強化いたします。

チーム力向上への取り組み

一人ひとりの力を協働させ1人+1人を2人と考えるのではなく、これを3にも4にもするシナジー効果を期待し、夢・希望・やりがいを求めてチーム力を高めていきます。



ぼだいじ訪問看護ステーション

メンバーの特徴

「ホットと安心♥ グツと元気に!!」をキャッチコピーに元気で明るい看護士揃いです。いつも笑顔で皆様のお家に訪問しています。

2016年度の取り組み

頼りになる新しいメンバーを迎え、さらにチーム力が上がりました。連携ファイルを作成し、ご家族様や他のサービスとの連携に努めました。お便りを6回に増やして発行し、情報発信ができました。

2017年度に向けて

さすが「ぼだいじ訪問看護ステーション」は「心温まり、安心できる存在と言われたい」をス

ローガンに、2017年はさらに皆様の在宅生活が安心・快適に過ごせるように看護していきます。

チーム力向上への取り組み

コミュニケーションを取りながら、個々の強みを発揮してチーム力を高めていきます。また、他の事業所との連携を行いながら皆様が笑顔になる様な存在になります。



ぼだいじホームヘルパーステーション

メンバーの特徴

幅広い20代から60代のヘルパーが在籍しています。それぞれに得意分野は違いますが、やさしさがあふれる個性派揃いです。

2016年度の取り組み

業務改善委員会で私的サービスに取り組み、地域・ケアマネジャーに幅広く知って頂きました。

2017年度に向けて

認知症ケアの向上、コミュニケーション能力アップ、チーム力強化に努めます。

チーム力向上への取り組み

情報の共有をし、ヘルパー同士の結束を強化します。



法人本部

メンバーの特徴

新たなメンバーが加わり、これまで同様、各職員が専門業務を行う中で各事業所との連携を図り法人をあるべき姿に導いていく支援集団です。

2016年度の取り組み

今年度からの法人制度改革に伴う法令遵守のための準備活動、各事業所運営の支援として認証カメラシステムの導入、実地指導のフォローと情報共有化、各教育研修運営のフォロー等を行う一方で、本部内でも体制強化と業務改善が図れつつあります。

2017年度に向けて

各事業所とこれまで以上に連携を図りながら、その運営支援と収益確保のための的確な情報提

供を行っていきます。また、職員もより専門業務のスキルアップを図るとともに法令遵守を原則としてスピーディーな業務遂行を行います。

チーム力向上への取り組み

メンバーが入れ替わる中で、これまで以上に専門性の向上と自主性、協調性に富んだ体制づくりをもとに全員が各事業所の運営を支援していきます。



ぼだいじ居宅介護支援センター

基礎資格として看護師、社会福祉士、介護福祉士のメンバーが活躍しています。意見交換を活発に行い、それぞれが気付きをケアマネジメントに活かしながら、誠実に、迅速にご相談に対応しております。

2016年度の取り組み

足まめに動き、ご本人やご家族の強みを活かしつつ、チーム力を発揮し、その人らしい自立生活に向けた相談支援を展開できました。主任ケアマネジャー配置による特定事業所として、新人ケアマネジャーの研修の機会も提供しました。

2017年度に向けて

地域の方に真っ先に選んでいただける事業所を目指します。超高齢社会である現実を踏まえ、

地域課題についての意識をもち、住みよい街づくりを目指していきます。

チーム力向上への取り組み

気が付いたことを気軽に話し合える事業所、お互いを尊重し合い、意見交換を活発に行いながら絶えず成長していく事業所であるために、日ごろのコミュニケーションを大切にしています。



高齢者支援センターぼだいじ

メンバーの特徴

一人部署ですが、いつも笑顔でがんばります。森川事務長を所長に迎え、大変心強く感じています。

2016年度の取り組み

2016年の8月に担当が交代したため、地域包括との連携を第一に考え、地域高齢者への訪問依頼には迅速に対応しました。

2017年度に向けて

様々な場所に積極的に出かけ、地域の方々に相談して安心してもらえるような事業所を目指します。

チーム力向上への取り組み

各事業所との連携を大切に、相談業務にあたり



厨房 ごちそうさん

メンバーの特徴

個性豊かなメンバーがそれぞれの良さを強みに変えて温かい、穏やかな食事の提供を目指します。

2016年度の取り組み

施設内外のお楽しみ弁当や急な食数変更や、その人にあった食事形態の要望にも臨機応変に対応します。

2017年度に向けて

『美味しくて、元気になれる。』と言っていたことをスローガンに頑張っています。

主な取り組み

毎日の食事提供はもちろんの事、厨房を他事

業所のマネジメントの一環として考えていく事を念頭に置き、多彩なイベント食、また行事食をご提案させていただきたく思っております。

チーム力向上への取り組み

信頼関係をベースに課題に対する知恵を出し合う仲間作り。とにかくチームワークを第一に考えます。



総合事業 デイサービス 「ぼだいじ ぐるぐるクラブ」

メンバーの特徴

女子力高めスタッフ4人が、あれこれ知恵を出し合って、楽しい介護予防、自立支援のプログラムを考えます。

2016年度の取り組み

2016年度までは湖南市委託事業の生きがいデイサービス「ぐるぐるクラブ」を菩提寺、岩根のまちづくりセンターで開催していました。

2017年度に向けて

ご利用者様と共に、自分たちの力で、総合事業デイサービス「ぼだいじ ぐるぐるクラブ」を作りたいです。

チーム力向上への取り組み

スタッフそれぞれの個性を生かした、自立支援のプログラムを計画、実践し、ご利用者さまの満足度アップにつなげたいと思います。



グループホーム みなくちみんなの家

メンバーの特徴

アットホームで若い職員がいきいきと働ける

2016年度の取り組み

・22区防災訓練と合同で行方不明発生時の捜索訓練を行うことができました。
・21区区近所福祉活動で、認知症やみんなの家の説明を行うことができました。
・22区サロンに入居者の方と参加し、地域の方との交流が図れた。
・ユニット会議でひもときシートを導入し、根拠のあるケアに繋がっている。

2017年度に向けて

「みなくちみんなの家」が「甲賀市に必要だ」と言われた。

チーム力向上への取り組み

・入居者の方に「ありがとう」と言わせ過ぎない介護を目指す(必要以上に手を出しすぎない。)・ケアマネジャーや地域住民の方に、事業所の事を知って頂き、普段の暮らしや考え方を伝えていく。
・他事業所や行政、地域の方とも相談しながら、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一端を担う。



デイサービスセンター みなくちみんなの家

メンバーの特徴

個性のある職員、ご利用者様に安心感を持って頂ける、明るく優しいメンバーが揃っています。

2016年度の取り組み

・ご利用者様、1日平均8.5人以上を達成することが出来ました。
・日本通所ケア研究大会でデイサービスセンター「みなくちみんなの家」の取り組みを発表する事ができました。
・バケツ田んぼや季節のおやつ作りなどを通して、役割や皆さんの持つ力を発揮していただく機会をもち、喜んでいただく事ができました。

2017年度に向けて

目的別体操をはじめ、ご利用者さまがいつまでも元気に、住み慣れた家で生活する事ができるよう自立支援に取り組み、ご家族さまの負担

を軽減でき、介護を続けていけるよう常に考え、支援していきます。

チーム力向上への取り組み

スタッフが、先を見据えて物事を考えられるよう、今後の介護保険の動向を学びます。ご利用者さまの持つ力を活かす事が出来るよう、介護技術を学んでいきます。



ケアプランセンター みなくちみんなの家 & 調理室

メンバーの特徴

昨年に引き続き児童、障害、高齢等多分野で経験してきたケアマネジャーが地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをさせていただきます。

みなくちみんなの家 調理室の紹介

毎日手作りの美味しい料理を入居者、職員と共に提供しています。「ネギが欲しいよ」と厨房の吉澤さんが叫ぶと、入居者の方が、畑に野菜を取りに！もちろん、和・洋おやつも手作りです。誕生日には、ケーキを焼き、デコレーションは、利用者

と職員と一緒にやります。食はコミュニケーションの大切な場です。



総合事業 ふれあいの家おしどり

メンバーの特徴

音楽あり笑いありの、個性あふれるメンバーで、それぞれの特技を活動に活かしていきたいです。

2016年度の取り組み

音楽会や食事会、喫茶など地域の介護予防の活動を15年続けてきました。昨年度は健康教室や「歌う会」を開催し、地域の方との繋がりがさらに広がりました。また、地域との繋がりを発表する機会を3度もいただきました。

2017年度に向けて

これまで地域の方々と作ってきた「おしどり」ならではの活動を活かし、それらをさらに発展

させて、2017年度は「総合事業 ふれあいの家おしどり」としてみなさんと活動を作りたいです。

